

# 随 想

## 海を渡った「お茶」

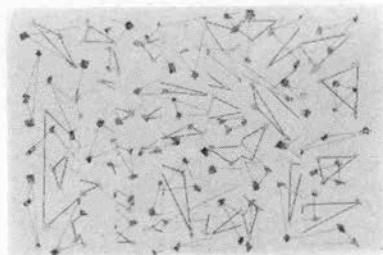
神戸居留地貿易―

藤岡ひろ子

△甲南女子高校教諭△



神戸港ポートアイランドが完成し、コンテナ取扱量はニューヨーク、ロッテルダムと並んで今や世界で一・二を争うようになりました。神戸港からわが国の誇る重化学工業製品・機械・雑貨などが機械化されたシステムにより海外に輸出されます。約一・一五年前神戸開港のころは、今日の様子とはまるでがっていました。波止場はわずかに東運上所前と鯉川尻のメリケン波止場のみ、そこから積



カット／田中徳喜「THE PLAY」

出す品物の筆頭は「お茶」でした。明治初期の輸出額の五〇％以上は茶によって占められたと記録されています。各地から集めたお茶は、居留地の外商の手に委ねられ、茶倉（お茶場）で再生加工されました。一八七〇年代にはその大部分がアメリカへ送られています。過日私はアメリカで保存された当時の陶器製茶壺の写真を見せ



Geo. Macy & Co.（茶貿易）の内部  
―明治末―（市村東九郎氏蔵）

て頂きました。四角い茶壺の二面には日本の花鳥が、他の二面には神戸と横浜のE・T・メーソンという商館の絵が描かれています。コーベ五六番と記された旗が風にたなびき、居留地時代を彷彿とさせます。その頃の欧米人の東洋の茶に対する憧憬はまことに想像をこえるものがありました。明治半ばごろ神戸に商館を置いたドッドウエル商会の社史をたどると、イギリスが公式に中国からお茶を輸入したのは一六六〇年ごろとあります。この東洋の神秘的飲料を一刻も早くロンドンに送らせるためチャイナクリッパーとよぶスピードの早い船で早着きレースをおこなったのです。ドッドウエルは、上海・香港・漢口・福州と日本の神戸・横浜にも商館を置いています。神戸の「ウォルシュ・ホール」、「アスピナル・コーンズ」、「スミスベーカー」ほか多数の欧米商館では、オフィスに茶倉を併設したのです。神戸居留地十一番館で茶貿易をおこなったG・メーシー商会の珍しい写真を市村東九郎氏から見せて頂きました。大きな木造の茶倉を伴う商館内部には実に沢山のお茶が整然と陳列されています。外人のもてきモノ姿で立ち働く日本人のすべてが男子であるのも、現在とはちがいます。当時上海の港からも中国

の茶が神戸に運ばれ、居留地で再製して欧米のさかんな需要に応じたようです。

茶の原産地といわれる中国を昨年訪れ、上海で思いつきでお茶の専門店に立ち寄りました。烏龍茶・花茶・緑茶・普洱茶・白茶など数え切れないほど沢山の中国茶がそこに並べてありました。私は親しみ易い緑茶を求めて帰り、熱湯を注いで賞味してみました。やはり中国のお茶は緑茶といえども中国料理に付随してこそそのすばらしい風味を発揮すると思いました。それにつけても、明治初期に欧米に送られていた日本の緑茶が、風習のちがいといえ多量のミルクを混ぜて飲用され、茶の真の味わいが損なわれました。その後東南アジアの茶が紅茶に精製され、それが欧米の食事に適応し優勢となりました。そのため日本の茶の輸出は打撃を受け衰退しました。

時が移り、いま神戸港は、インド・スリランカから多くの紅茶を輸入しています。アッサム・ニルギリ・ウバなど。六甲山にしみこんで湧く美味しい天然の水を用いて入れた、透きとおるこはく色の高雅な紅茶の味わいは、イギリスの人だけでなく、おそらく世界の人びとをも魅了するにちがいない。

## 新米家具屋の

## 欧州駆け足紀行

永田 耕一

▲永田良介商店・取締役役



先月、六月初めから約三週間、ヨーロッパをかけ足で回って来ました。最初の一週間は列車で、次にレンタカーで、そして最後の一週間は飛行機で移動しました。新米の家具屋として初めての海外でしたし、かなり家具にしぼって見て回りました。つまり、街の中を見ることと博物館、古城を見て歩いたことになりました。

まず、ヨーロッパの博物館、有名なルーブルやオランダ国立博物館なども含めて、入場料が安く、中には無料という所もあり、誰でも簡単に見れるようになっていきます。私共、家具屋として驚くのはどこの博物館へいっても、必ずと



コペンハーゲン国立博物館  
Life of Peasant  
「バタフライテーブル」

いつていい程、家具の展示がかなりのスペースであることです。たとえばルーブルには、ナポレオンの使った椅子やルイ10何世の居間とかが残っているのです。これは要するに生活の違いといえればそれまで、彼らの風俗史という部分には当然、我々が言っている欧風家具がついてくるわけで、又、彼らの家は石造の家ですから、家具などの保存もいいということなのですが、保存の良さ、展示のボリュームという点では頭が下がります。古い城についても同様のことが言えます。日本のお城のように変にいじったりしていませんし、現実には今すぐ人が住めるという状態の所もあるわけです。そういう姿勢に対しては、単に日本との文化の違いということではすませないものを感じます。

もう一つ、家具という面から気づいたことですが、街の中に椅子の張替屋さんがあるのです。と言ってもおわかりにならないでしょうが、日本では大体、椅子の表の生地が傷んだら、即、粗大ゴミになってしまいます。これは、家具を売っている方にも責任がありまが、なかなか張替をして使うことは少ないわけです。彼らヨーロッパ人は、そうじゃなく張替をして、いいものを長く使っているんじゃないかと思えます。おそらく、

何代も前から使っている椅子などが張替の対象になっているんだとは思いますが。とは言っても、新しい家具でもそれを考えているのは事実でミラノの近くのモダンな家具メーカーの専務さんもそのように言っておられました。私共の家具もそういう前提に立って作っていますので一層力づけられたようなわけです。

ともあれ、一カ月弱ヨーロッパを回って、家具屋としてびっくりしたり、納得したりしながら帰って来たようなわけです。

## 句集「気根」と

### 高柳重信先生

#### 三宅 三穂

△俳人「渦」「俳句評論」同人△

第二句集「気根」は「渦」主宰赤尾兜子先生を亡くして二年後、「俳句評論」代表高柳重信先生を失う二カ月前に出版する事が出来ました。第一句集「反射光」より二十五年ぶりの喜びでした。昨年



「上高地」にて 左端が筆者

十二月に高柳先生の前稿を頂き今年の五月一日に本があがったのですが、その間、「句集はまだなの？」と奥様の中村苑子様に一度ならず口にされたそうです。私の句集が出るのを待っていて下さったのでしょうか。重信先生の思い出は今波のように私にかぶさって来るのです。食道静脈瘤で急死されたのは七日前の事です。肝硬変という病名が新聞紙上に書かれているのを見て何かの間違いでは？と思いました。

去る三月二十一日、兜子先生の三回忌には西下されましたし、七月二日にお電話した折も何も変わった様子が無かったのですから。

東京で重信先生指導の俳句教室がサンケイと西武にあります。七月五日の西武教室にお出になって最後迄講義をされたと聞きましたが、足の浮腫みもひどく、息づかいも荒かったそうです。原稿は総てお済ませになったとも伺いました。「俳句研究」の編集長としての責任も最後迄果されたのです。壮絶な死だった、と皆言いました。私はその責任感の強さと我慢強さに一瞬、心の凍るような恐れが稲妻のように身を貫きました。

それは今迄重信先生に抱いていた尊敬という言葉等では表現のかなわない、そして私はその足許にさえも近寄る事の出来ない、途轍

もなく巨大な何かでした。

二十二、三年前の夏の夜、上原のお宅で始めてお会いしました。

「俳句評論」に入会して間もなくの事です。土砂降りの雨の夜。

「大阪に帰ったら毎日新聞社に赤尾兜子を訪ねるといいよ。彼は「俳句評論」の関西代表なんだよ。」

その通りにしました。その事が間もなく「渦」の仲間入りをする糸口になりました。

私は、三年前に発病した肝炎に一年余り悩まされましたが精神面での立ち上りと同時に肉体も一病息災を地で行く毎日を送っています。念願の第二句集「気根」は私が生きる証しとしたにも拘わらず序文を賜った重信先生は六十歳で一生を閉じられました。

兜子先生の死を悼む気持ちがまだ強く残っているというのに、ほんとうに残酷です。

「気根」には、陳舜臣先生の「飛天の雲」と題して、三宅三穂のこゝろ——を書いて下さった一文を掲載させて頂きました。身に余ることと深く感謝しています。

最後に三句程挙げさせて頂きま

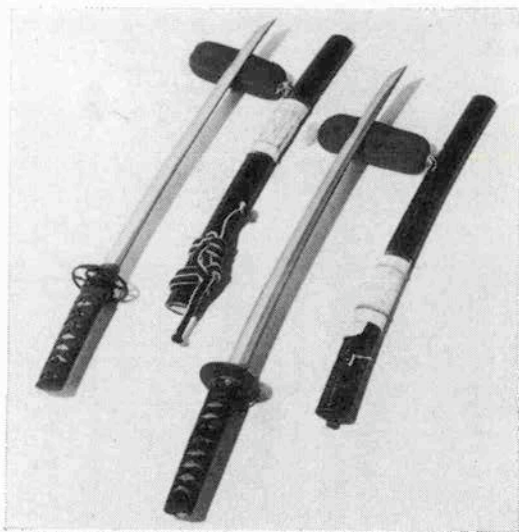
すが。

わが肝は何色ならむ石路の花  
目のうろこ割がれてみれば

父がいて輝やき止まぬ片の水



# 刀剣 古美術



(左) 脇差 拵つき 無銘 長さ51.5cm(1尺6寸)  
特別提供価格 ¥600,000  
(右) 脇差 拵つき 備州長 長さ48.1cm(1尺5寸9分)  
特別提供価格 ¥350,000

毎月20日 無料鑑定  
研磨、白サヤ、その他工作  
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

兵庫県美術刀剣商組合事務局

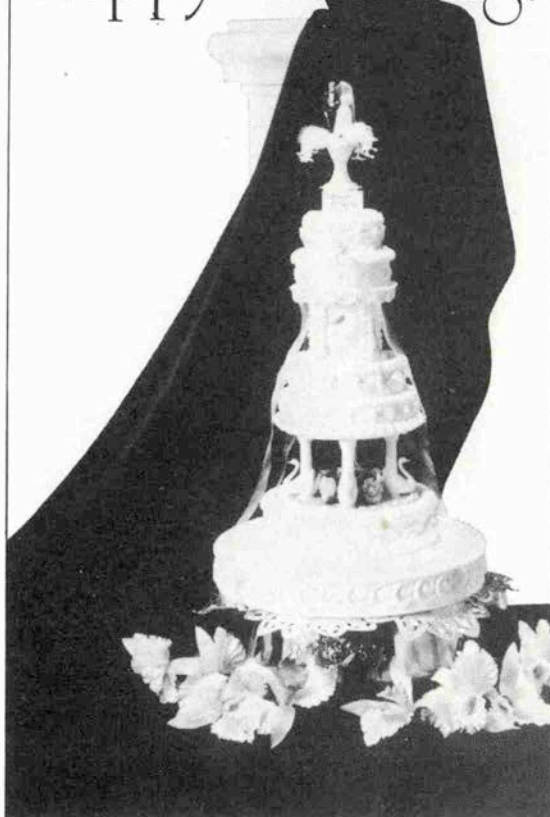
刀剣の **元 町 美 術**

神戸市中央区元町通6丁目6番3号

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081

# Happy Wedding!



北 欧 の 銘 菓

**ユーハイム・コンフェクト**

■本社 神戸市中央区熊内町1-8-23 ☎221-1164

ある集い・その足あと

## 「和」が信条「神戸光影会」

福田太加志（神戸光影会代表幹事）

「犬、猫を逃がすな！」

「邪魔者は殺せ！」

のっけから物騒なことを書きましたが、これは神戸光影会最初の例会で緒方先生から教えていただいた写真撮影心得の一部です。犬猫は被写体として逃がしてはならないこと、画面の中に余分なものを写し込まないように注意すること、という教えなのです。

昭和五十一年の秋に全日本写真連盟兵庫県本部が主催する写真入門講座を受けた仲間が集って写真クラブをつくったのが神戸光影会（会長石田康雄）です。そして、



選評会で、緒方先生（右端）の助言を熱心にきく

最初から指導していただいているのが緒方しげを先生です。現在二五名の会員が楽しく写真の勉強をしております。会員は、会社員、公務員、教師、医師、自営業など顔ぶれは多彩です。

発足以来毎月一回撮影会を行うとともに、その時に写した写真を持ち寄って批判しあう例会を欠かさず実施してきました。

例会では、自分の作品がはたして先生や会員にどのように評価されるか、絶賛？されるか、無視されるか、ちよつとしたスリルを味わうことができます。緒方選一席互選（会員で投票して決める）一席を獲得したいと秘かに願っているのですが、なかなかそうは問屋がおろしてくれません。「この写真のどこがおもしろいのですか。」とか、「この写真からは何も感じませんね。」などと酷評されることしばしばで泣けてきます。しかし、「この写真には生き生きとした躍動感が感じられますね。」などとほめられると、すっかりうれしくなるものです。

会が発足して二年程たった頃、会員の一人が「せっかくの作品だ

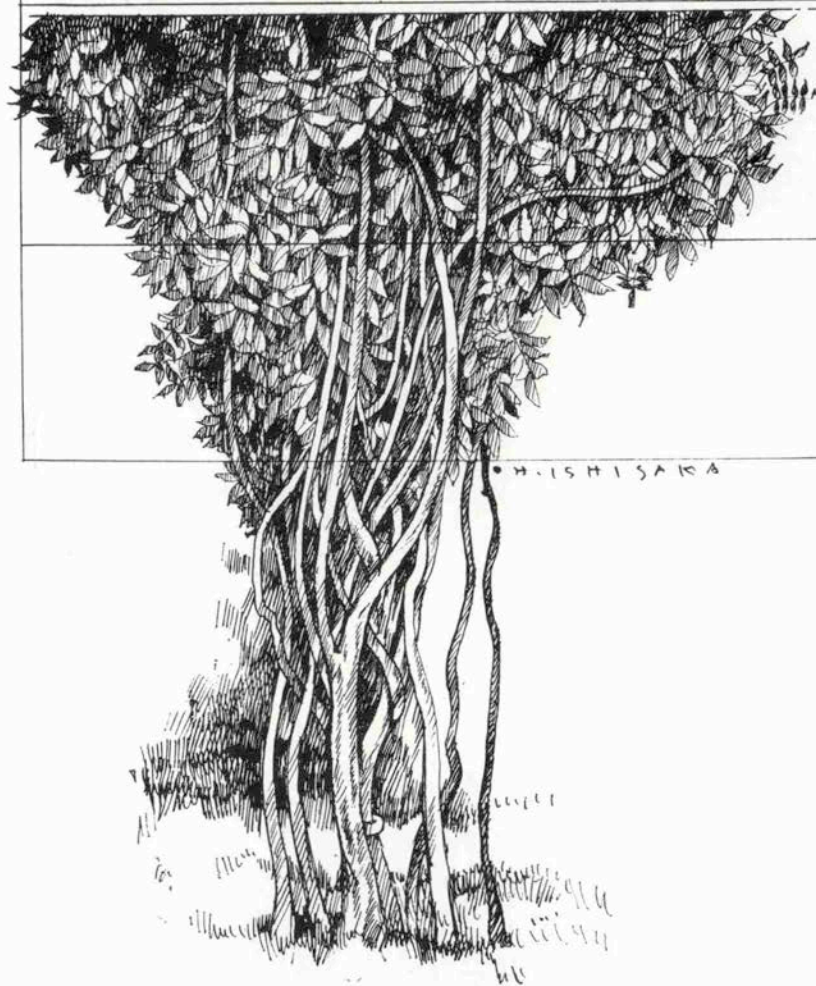
から何とか本にでもして残せないだろうか……」と提案、早速会員で相談し、光影会五周年記念として写真集を出版することを決定し資金の積立をはじめました。緒方先生からは、あまり恥しい作品は載せられませんが、と釘をさされたものです。写真集の発行に最も情熱をもやしていた初代会長犬飼利一氏が志なかばにして、昭和五十六年二月に急逝されるという悲しみがありました。カラー三三三、モノクロ六五五、一〇八ページの豪華写真集（と会員は独善的に思っている）「神戸光影会写真集」が今年4月当初の予定から一年遅れてようやく出来あがりしました。アマチュア写真クラブとしては画期的なことをやったねエ。と多くの方から激励をいただきましたが、これはひとえに緒方先生のご指導のたまものと会員一同感謝するとともに、会員相互の「和」が実ったものと思っています。これからも一層会員同士の親睦を深めながら楽しく写真の勉強をしていきたいと思っています。

神戸光影会では、いつでも新しい方への入会を歓迎しています。あなたもこいっしょに写真を楽しみませんか。

□神戸市長田区二葉町六三ー四 福田太加志方 神戸光影会 TEL(611) 2444

□ 詩心象 □

詩・安水 稔和  
画・石阪 春生



おなきといふいをが

夏の病院のベッドで父は透析を待つ。こどものころ泳いだ市川の風に吹かれている。とよとみ村。百日紅の紅が揺れている。

夏原野でわたしはとよとみ村をみつけた。父の知らない北の村。寒いさるるの浜に陽はかたむく。りいしりの海は渦巻く。

父よ。そこから見えるか。かたむく船に刻まれたとよとみまるといふ字が。快晴の日に浮上するといふ小山のごとき大魚が。



●れんさいエッセイ Wakakoの神戸はKOBÉ〈4〉

# 愛すべき宇宙人

小原 稚子（小原流理事・国際部長） 絵／上尾忠生

大ブームになったETや、この頃売り出し中の「スターウォーズ」のイウォークなどよりずっと早くから、我が家には「宇宙人」がいる。あろうことか、私はその「宇宙人」の娘にあたるのだ。

私は父のことを地球人ではなく、「宇宙人」ではないかと思うことがある。そうでも思わないと、いけばなは神技なみなのに、他のことには不器用かつ不案内な、きわめてバランスの悪い行動の説明がつかない。SF小説の主人公なら、さしずめ「いけばな星人」といったところだろうか。

うちの「いけばな星人」の不器用さはピカ一である。まず自分の爪も満足に切れない。ひげを剃ると、安全カミソリなのに傷をつける。電気カミソリは「顔に吸いつきそうで」こわくて使えないのだそうだ。その血の出たところに、ティッシュペーパーの切れはしをペタッとはりつける。そのあと出かけるときなどは、家人が「紙がついていますよ」と注意をしないとそのまま出かけてしまう。口元に白い紙がへばりついていることなどとうに忘れてしまっているのだ。

トイレは三回に一回は水を流し忘れる。そのうえ、必ずしも便器の中に用足しするとは限らないので、文字どおり「仕末が悪い」。まったくハタ迷惑である。きつと「昨日見た花材をどうやって

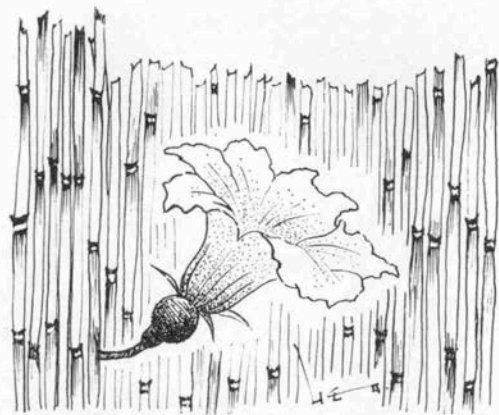
けようか」などと考えていて上の空なのだろう。

父の機械オンチもけたはずれである。公衆電話は言うまでもなく、自分の家にも電話をかけられない。第一、自宅の番号を知らないのだ。自動販売機で母が父のタバコを買うと、「お母さんは偉いんやなあ」と感嘆する。母はあきれて笑う気にもなれず、「こんなこと、誰でもできます」と一言。

オンチついでもう一つ。父の方向オンチも大したものだ。東京でもう二十年も常宿にしているホテルでも、いまだに部屋を出ると左右を確認した上でおもむろにエレベーターホールとは逆の方向、つまり廊下の奥の方へと歩いていく。つきあたりは非常口だから、ホテルの火事ときは煙にまかれるようなことがあっても、一番に助かるのではないかと家族は安心している。

無頓着というか、「心ここにあらず」タイプの典型のような父は、出先きで日本座敷に上るともう自分の靴のことなどは忘れてしまう。帰りがけは手当り次第（いや足当り次第というべきか）に他人の靴をはいてくる。高価な靴をはいておられる方は絶対に父と一緒に靴をぬいでは後悔なさるにちがいない。それどころか、背広の上着を料亭などでぬぎ、そのひとがハンガーにかけておいてくれると、これも帰りは手当り次第に着て帰





の子供の頃の思い出の中に浮かび上る父は、センチティブな面を多くもっていた。

そういう父の姿で忘れられないのは、ずいぶん以前の九月三日のことだ。その日は私の誕生日だった。ちょうど、阪神間をジェーン台風が直撃した年である。一日中、大雨と激しい風とに襲われた。

る。着心地がちがって他人の上着はすぐ解りそうなものだと思うのは我々凡人の考えることらしい。ポケットに自分の所有物でないものが入っていても平気。タバコまでひとさまのを出して喫っている。一度など、バーで他の男性の上着を着て帰ってきた。そのママが、父の上着をもって追っかけてきたが、運悪くその「まちがえられた紳士」は最終の列車で出張するまでの時間つぶしに飲んでいたのでたまらない。やっとのことで上着を取りかえして列車に間に合ったと後できいて、我々は胸をなでおろしたものだ。

いっしょに生活をしている家人は、まったく目がはなせない。きっと「いけばな星人」とは、あたりまえでないことを大まじめにする類の星人なのだ。

そんな父も本質的には芸術家であるから、感受性となると、その鋭さは並たいていではない。私

\* \* \* \* \*

ちょうど母が伏せていて、誕生日の祝膳にさほどの用意があるわけではなかった。内弟子さんが炊いてくれた赤飯を食べる頃には電気も消えたロウソクの灯りで食事につくと、父はつと立っていった。激しくたたきつける雨と風のなかを、まだほの明るい裏庭の菜園の方へ父は下りていった。やがて、ずぶぬれになって父はかぼちゃの花を一輪、手にもって入ってきた。そして、その花を洗い、コップにさして食卓に飾ってくれた。母が病気で、佻しい祝いの膳に着いた娘の誕生日を、せめて一輪の花で飾ってくれようとしたのだ。

雨に打たれた黄色いかぼちゃの花が、ロウソクの灯りを受けてキラキラと光っていたのを今でも忘れることができない。そして、嵐のなかをびしよぬれになりながら、その花をとってきてくれた父の姿もまた忘れることのできない大切な思い出のひとつである。

(編集部注) 本文中の「父」は小原流家元・小原豊雲氏

# ’85ユニバーシアード神戸大会を 第2のポートピアに

以登田

穂

（神戸市ユニバーシアード準備室長  
（財）ユニバーシアード神戸大会組織委員会神戸事務所長）

長島

隆

（神戸地下街副社長）

小関

三平

（神戸女学院大学教授）

馬淵かな子

（元オリンピック出場選手）

山内

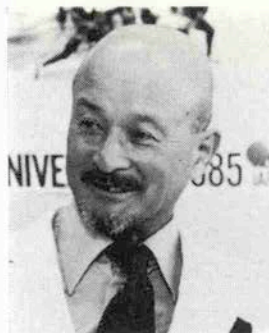
健次

（日本大学文理学部1回生  
エドモントン大会出場選手）

吉田

和子

（第13回クイーン神戸  
甲南女子大学4回生）



長島 隆さん



以登田 穂さん



馬淵 かな子さん



小関 三平さん



山内 健次さん



吉田 和子さん

—'85ユニバーシアード神戸大会へ向けて、シンボルマークのプリントされたTシャツ姿の若者が街角で見うけられるようになり、公式ポスターが配布されるなど、次第に若人の祭典のムードが盛りあがりを見せている。一方大会のメイン会場となる西神地区でも神戸総合運動公園や選手村の建設が着々と進められています。その一面には全国でも屈指の規模をもつ6万人収容の陸上競技場やテニスコートなどが建設中であり、もう一つのメイン会場となるポートアイランドでも、ワールド記念ホールの建設が進められています。また先の神戸経済会議では神戸市のスポーツ都市宣言が提言されていますが、開催まであと約700日と迫ったユニバーシアード大会について、スポーツに関心の高い各界の方にお集まりいただき、今日は積極的なご意見をお願いしたいと思います。



神戸総合運動公園（西区）

#### ★ユニバーシアード神戸大会開催を前に

以登田 ユニバーシアードについて簡単に説明させていただきますと、これは2年ごと、奇数年に行なわれる国際的なスポーツの祭典であり、今年のエドモントン大会で60周年を迎える伝統ある大会といえることができます。

第1回のユニバーシアードは1923年に行われ、主として東欧圏、ヨーロッパを中心に、かつては学生スポーツ競技大会という名前で呼ばれていたようです。ユニバーシアードの呼称の由来は、大学という意味のユニバーシティとオリンピックの合成による造語であり、学生のスポーツ大会、通称「学生オリンピック」と呼ばれています。ユニバーシアードは回を重ねるごとに年々、参加国数も増え、活気溢れる大会へと成長しつつあります。79年のメキシコ大会では94カ国、81年のブカレストでは85カ国、本年のエドモントンでも80カ国と、67年の東京大会の34カ国と比べると、現在では参加選手数も4000から50000人となり、オリンピック大会につぐ大規模なスポーツの祭典といえることができます。

一方、神戸市はかねてよりコンベンション都市を標榜してきており、ポートピア'81の後に来たるべき大イベントとして、ユニバーシアードを誘致してはどうかという提案があり、青少年の健全育成とスポーツ施設の整備やそれに伴う交通機関など都市施設の充実を図ることが可能になる。さらには、これを起爆剤として経済的な効果もえることができる。同時に神戸という街を世界にアピールし、国際都市神戸の将来のより大きな発展をめざすための基礎がたまるという目的から、大会の誘致に踏みきました。昭和56年の11月に神戸大会開催が決定されましたが、実はその前に名古屋市が1988年開催予定のオリンピック大会の誘致に失敗したし、日本の各スポーツ界の人々は非常に失望していた折りだったわけで、神戸市のユニバーシアード大会開催決定は、まさしく明るいニュースとして伝えられました。



神戸市は大会誘致に成功してすぐに開催のための組織委員会をつくり準備を進めてまいりましたが、今年6月に財団法人として正式に認可があり、神戸と東京に事務局を設けて職員数も45名となり、いよいよ本格的な準備体制に入ったわけです。

山内 私は、今年のエドモントン大会に陸上の選手として出場し、先日、カナダから帰ってきました。エドモントンでは戦績はかんばしくなかっただけに、ぜひとも神戸大会に選手として選ばれ、大いに頑張りたいと思っています。それに、私は神戸っ子ですので地元での開催とならばなおさらのことです。

長島 私はスポーツが大好きなんですが、神戸でユニバーシアードのような大きなスポーツ大会が開かれるというので、とても喜んでいます。宮崎市長の話によればユニバーシアード大会の開催決定について、ローマではポルトビア'81の成果を非常に高く評価しており、ポルトビア'81をやった神戸ならまったく安心だ、というふうに大きな信頼を得たことがきっかけになったらしいのです。

さらに、ユニバーシアードを神戸で開催すれば、第2のポルトビア'81になるだろうとの見方もあって、諸外国でもとても好意的に見守ってくれているようです。それほど諸外国が注目している神戸の大会ですから、ぜひとも成功させたいと思っています。

また、東京オリンピックや大阪の万博などの例に見るように、目標をしっかりと定めて年次をきって着々と事業を進めていくという方法こそ、経済的効率は高くて都市の発展について最良の道と思っています。現在、進行中の地下鉄の全線開通についても、ユニバーシアードのような大きな目標がなければ、容易には西神ニュータウンまで伸ばすことができないわけです。総合運動公園や選手村など西神地区にユニバーシアードのメイン会場が建設されるからこそ、地下鉄も着々と進んでいるわけです。これはむしろ、ユニバーシアードの副産物だろうけれど、やはり忘れてはならない点ですね。

小関 私はユニバーシアード大会が、やはり学生のスポーツの祭典であるという点に非常に関心があるんです。彼らはスポーツ選手として神戸へやってくるわけですが、何といっても選手である点を離れば大学生なので、何か付加的なイベントを考えてほしいものですね。馬淵 私は、ユニバーシアードは67年の東京大会と70年のトリノ大会を見ました。水泳に限ると、日本では大学生しか参加させないのですが、ヨーロッパやソビエト、中国では大学を卒業した人でも出場できますので、25歳26歳などの人たちも多く参加していますね。ユニバーシアードが神戸で開かれることについては、私はスポーツをやる側として、施設が充実するという点がいちばん嬉しいわけです。

吉田 私がユニバーシアードに関心をもつようになったのは今年になってからなのですが、ポルトビア'81以上のものとなってほしいと願っています。そのためには、より多くの市民の皆さんに理解していただき、市民もまた何らかの形で参加できる大会というものを考えてほしいものだと思います。

#### ★若者の生活文化の中にスポーツを

以登田 ところで、最近の若い人たちとスポーツの関わりを見ると、私にはあらゆるスポーツが一般的にさかんになってきているものの、果たしてその水準はどうだろうと考えた時、少し不安な点があるのです。

かつて東京オリンピックでは、水泳とか三段とびなどがいぶんと活躍したのですが、当時と比較するとどうもレベルが落ちてきているのではないかという気がします。今年のエドモントンでは、金、銀、銅あわせて11のメダルを獲得していますが、来年のロスアンゼルスオリンピック大会、その翌年のユニバーシアード神戸大会そして、次にはソウルのアジア大会、ソウルのオリンピック大会など、そういったいくつかのビックイベントに対し、長期的な計画にもとづいた選手たちの強化と育成

が必要だと痛感しているのですが。

馬淵 私もその点については同感ですね。今日もポートアイランドスポーツセンターで全国選手権の練習を終えてきたところなのですが、国体にしても地元の選手が出るとなると、とても盛り上がりますから、神戸でユニバーシアード大会となると、まず地元の選手が出ることによって大いに盛り上がり、観にきてくださる人たちの応援に対して選手たちも当然それに応えようと頑張るわけです。地元選手が頑張ると、いわずもがな日本人選手全体のモラルもアップするわけです。

そのための不断の選手の実力強化と育成がものをいうことになります。私は水泳のことしかわかりませんが、選手レベルアップについては、ここ数年で上向いてると期待しています。今年のエドモントンでは水泳も非常に頑張っていましたし、神戸大会では地元である神戸から若い人が出てきて、メダルをとってやろうという意気込みで練習に励んでほしいものです。

山内 私は陸上の短距離をやっているのですが、短距離という種目は世界的にみると、日本はレベル的に遅れをとっております。しかし、出場するかぎりは精一杯頑張らなければならないと話合っています。

小関 私は、ここ数年、スポーツ界全体の實力が低下してきているような気がするんですよ。大学受験という関



斬新なイメージの公式ポスター

門があつて、大学に合格するまでは受験勉強で追われてしまい、有能な選手となる前にその芽をつまれてしまう結果になる。また、大学合格と同時に勉強から解放されて目標を失うか、いわゆる「遊ぶ」ことに夢中になってしまふんですね。これはスポーツ界にとって大きな痛手じゃないですか。

馬淵 大学受験の制度も再検討してもらって、やはりスポーツ選手を育成するための制度が必要です。でないと、大学生は勉強はしない、スポーツもしない、それで、遊ぶことが中心になって大学の価値観も低くなるだけです。私は声を大にして言いたいですね。

小関 選手のレベルを支えていたものの一つには、私はアマチュアグループがいつもその陰にあってバックアップをしていたというのが、最近ではスポーツと若者の関わり方が変わってしまったって、アマチュア層が弱体化してきたともいえるのではないのでしょうか。

以登田 それについて私は思うのですが、神戸がユニバーシアードを機会にスポーツ都市宣言をしようというムードをじわじわと盛りあげていくと同時に、ユニバーシアードが良い刺激となつてアマチュア層の裾野が広がることを期待します。

長島 神戸は明治の初めから、サッカーやレガッタ、ゴルフや登山などスポーツの発祥の地なのに、今までスポーツの大きな大会というものが行なわれていません。ユニバーシアードがはじめての大会なわけですが、神戸が色んなスポーツの発祥の地ということを見直してほしいものです。

馬淵 聞くところによると、飛び込みも神戸が発祥らしいですよ。戦前ですが、甲子園の浜でやったのがはじめてとかということです。

小関 スポーツ発祥地の神戸と、現在のファッション都市神戸と比べると、イメージが大幅違いますね。何だか今ではスマートになりすぎています。

長島 そうかもしれませんが、最近の若い女性をみてい

ますと、テニスなどは特に、ファッショナブルになってきています。つまり、スポーツとファッションが結びついて何か新しいエネルギーのようなものを若者たちが持ちつつあるようにも思えるわけです。スポーツがファッション化したのかもしれないませんが、これがただ単にファッションで終わるものでなく、中味の濃い、スポーツの水準も非常に高いものへと移っていくためのムードづくりも必要だと思うのです。

### ★選手も観客も皆が楽しい神戸大会に

小関 私は施設建設や選手村など実務的な面は第一義的に必要とは思いますが、諸外国の選手の受け入れ体制について、十全な配慮が必要と思うのです。というのは、スポーツ競技だけでなく、そのオフタイムでの受け入れ、たとえば、ミュージック・フェスティバルとかのアトラクションがあつてこそ、はじめて神戸をアピールすることになると思うのです。つまり、スポーツ大会だけのために神戸へ来るのなら、神戸で開催する意義は半減してしまふくらいがあります。

山内 私の場合、エドモントンでは、競技以外は宿舎に閉じこもつてあまり外へ出ることもありませんでした。だから、エドモントンの街を覗いて回る余裕もなく日本へ帰ってきた次第で、本当はエドモントンをよく理解できたとは言えないのが残念ですね。

馬淵 外国では、いつもパーティがあり、選手たちを歓迎することが多いのですが、日本では出場チームごとに規制があつて、そういうレジャー気分が味わえないのも実情です。祭典などにお祭りが無いというか、事故などの危険を考えると責任問題になりかねませんので、結果的にはリラックスしないままで競技オンリーの旅行になつてしまふんです。外国の場合は、非常にフリーな雰囲気です。祭典など踊つたりするのですよ。

長島 それは、神戸大会ではよく検討する必要がありますね。私はユニバーシアードでも、ポートピアの折りの

キャンペーンのようなものが必要だと考えているのです。つまり、街をあげての「もてなしの雰囲気」をつくっていくことですが、市民の中から有志によるグループが自然発生的に生まれてくれば最高なのですが。

吉田 私たちはクイーン神戸としていつも諸外国の人々を迎える側にいますが、クイーン神戸が一年間で任期を終えた後もグループを作るなど、何らかの連帯意識をもてたらと思うのです。そうすると、今年で13回ですからかなりの人数が集まり、ユニバーシアードのような祭典には一種のボランティアのような形の協力も可能だと考えているわけです。

以登田 それは大変面白い提案です。スポーツにはボランティア精神が非常に大切ですし、エドモントン大会でも2万人近い人々がボランティアに参加していました。

長島 ユニバーシアードでは英語がまったく通じない国々の人々も参加しますから通訳が大変ですよ。能力のある人にボランティアで参加していただきたいですね。

小関 ユニバーシアードでは、「もてなしの雰囲気づくり」をどうやって盛り上げていくかということはこれから大いに話し合っていくべきことですが、それは、ひいては、神戸を、日本をどう理解してもらうかということにつながりますね。

長島 現在は大学生である選手諸君が、10年後、20年後には各国の色んな分野での主導的な立場にたつ年齢になつていくわけです。特に発展途上国の人々には旺盛な向上心で若い純粋な目で神戸を見て帰ることにあります。

2年後にユニバーシアードが行なわれ、ここに参同した世界各国の若者たちが12日間のイベントということでお終いになるのでなく、20年後にも彼らと神戸がお互いにコミュニケーションを保ちつづけている、といった実りある、愉快で、楽しいスポーツの祭典となつてほしいと心から願っております。

(ポートアイランド国際交流会館内)

ユニバーシアード神戸事務局、第1会議室にて)



### 田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区旗塚通 6-3-10  
TEL (078) 231-3321

### オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

### カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 稲岡 必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807  
センタープラザ東館8F  
TEL (078) 392-2101

### 株式会社ペニヤ

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

### モロゾフ株式会社

代表取締役会長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594



## さりげない個性の主張



機能性とファッション感覚が見事にとけ合った  
独特のマルヴィツスタイル

 **神戸眼鏡院**

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表  
三宮店・さんちタウン ☎(391)1874~5

耳のよきパートナー

**補聴器オーディオルーム**

専門コンサルタント担当

- 防音室で聴力測定・補聴器微調整
- 耳穴にフィットする耳栓型取り

※補聴器は元町店で取り扱っています。



神戸発全国便

小さな引越受付中

24時間営業 / 年中無休

【梱包便】電化製品、家具類、エレクトーン、自転車等  
美術品、骨董品（どんなワレ物でも御相談に  
応じます。但し地域限定）

**ユーミノルサービス**

(〒658) 神戸市東灘区住吉南町1丁目10-1

本社 ☎(078) 822-1700(代)

芦屋営業所 ☎(0797) 23-6710